

責任を先に、願いは後に

「先義後利」という教えがあります。正しい道を優先し、利益はその後に求めるという考え方です。老舗百貨店・大丸の礎を築いた下村彦右衛門は、この精神を家訓とし、三百年近く受け継がれてきました。

お客様を第一に思い、「自分より相手を大切にする姿勢」を守り続けたからこそ、信頼が積み重なったのです。

この教えは、私たち一人ひとりにも当てはまります。今の便利な暮らしは、先人の努力の上に成り立っています。その「恩恵に感謝」し、学びや文化を次へと「受け継ぎ発展させる役目」があります。

もちろん、自分の思いや望みを大切にすることも必要です。しかし、そればかりを先に求めれば、社会の調和は保てません。まず果たすべきことに向き合う。その積み重ねが信頼を生みます。

「責任を先に果たす心」こそが、豊かな社会を支えます。権利は、義務を尽くしてこそ胸を張って語れるものです。

今日の言霊：義務あつての権利

老舗企業が長く続く背景には、目先の利益よりも信用を重んじる姿勢があります。この考えは、特別な立場の人だけに必要なものではありません。

私たちの生活も、過去の人々の努力の積み重ねによって支えられています。

だからこそ、その成果を当然と思わず、より良い形で未来へつなぐ意識が求められます。自分の願いを主張することは大切ですが、果たすべき役割を後回しにしては周囲の理解は得られません。信頼は、与えられるものではなく行動から生まれます。家庭や学校、地域の中で自分にできることを丁寧に続ける姿勢が、安心できる社会の土台になります。求める前に尽くす心が、結果として自分を守る力になるのです。



【今回の学び】⇒求める前に尽くす！

責任を先に、願いは後に

「先義後利」という教えがあります。正しい道を優先し、利益はその後に求めるという考え方です。老舗百貨店・大丸の礎を築いた下村彦右衛門は、この精神を家訓とし、三百年近く受け継がれてきました。

お客様を第一に思い、「自分より相手を大切にする姿勢」を守り続けたからこそ、信頼が積み重なったのです。

この教えは、私たち一人ひとりにも当てはまります。今の便利な暮らしは、先人の努力の上に成り立っています。その「恩恵に感謝」し、学びや文化を次へと「受け継ぎ発展させる役目」があります。

もちろん、自分の思いや望みを大切にすることも必要です。しかし、そればかりを先に求めれば、社会の調和は保てません。まず果たすべきことに向き合う。その積み重ねが信頼を生みます。

「責任を先に果たす心」こそが、豊かな社会を支えます。権利は、義務を尽くしてこそ胸を張って語れるものです。

今日の言霊：義務あつての権利

★問一（語彙） 本文中の「恩恵」の意味として最も適切なものを選びなさい。

- ア 努力の失敗
- イ 偶然の出来事
- ウ 他から受けるありがたい恵み
- エ 一時的な利益

★問二（選択） 「先義後利」という考え方の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 利益を最優先に行動すること
- イ 正しい行いを優先し、利益は後に求めること
- ウ 他人の評価を重視すること
- エ 伝統を守ることを目的とすること

★問三（選択） 本文によれば、信頼が積み重なった理由として適切なものはいずれか。

- ア 利益を追求し続けたから
- イ 社会の流行に合わせたから
- ウ 相手を第一に考える姿勢を守ったから
- エ 宣伝活動を強化したから

★問四（選択） 筆者が「社会の調和は保てません」と述べる理由として最も適切なものを選びなさい。

- ア 個人の願いをすべて否定しているから
- イ 責任を果たさず権利だけを求めると均衡が崩れるから
- ウ 利益が少なくなるから
- エ 伝統が失われるから

★問五（記述） 「義務あつての権利」とはどのような意味か。本文を踏まえて説明しなさい。（40字程度）

模範解答・解説

★問一 模範解答 ウ

○解説④ 「恩恵」は他者の働きにより受けるありがたい恵みを指す。先人の努力の結果としての便利な暮らしを示す語である。

★問二 模範解答 イ

○解説④ 本文冒頭で、正しい道を優先し利益は後に求める教えと説明されている。語の意味を正確に押さえる問題である。

★問三 模範解答 ウ

○解説④ 「自分より相手を大切にする姿勢」を守り続けたことが信頼の源と述べられている。原因と結果の関係を問う設問。

★問四 模範解答 イ

○解説④ 自分の望みだけを先に求めれば社会の調和は崩れるとある。責任より権利を優先する危うさを指摘している。

★問五(記述) 模範解答(例)

果たすべき責任を尽くしてこそ権利を主張できるということ。

○解説④ 本文末に、権利は義務を尽くしてこそ胸を張って語れる。責任と権利の順序関係をまとめる問題である。

老舗企業が長く続く背景には、目先の利益よりも信用を重んじる姿勢があります。この考えは、特別な立場の人だけに必要なものではありません。

私たちの生活も、過去の人々の努力の積み重ねによって支えられています。

だからこそ、その成果を当然と思わず、より良い形で未来へつなぐ意識が求められます。自分の願いを主張することは大切ですが、果たすべき役割を後回しにしては周囲の理解は得られません。信頼は、与えられるものではなく行動から生まれます。家庭や学校、地域の中で自分にできることを丁寧に続ける姿勢が、安心できる社会の土台になります。求める前に尽くす心が、結果として自分を守る力になるのです。



【今回の学び】⇒求める前に尽くす！